

船舶事故調査報告書

令和6年2月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	令和4年8月21日 16時30分ごろ
発生場所	福岡県福岡市暮石鼻北西方沖 能古島灯台から真方位228° 2.2海里付近 (概位 北緯33° 36.8′ 東経130° 16.3′)
事故の概要	水上オートバイ ^{はじめ} は、航行中、機関室が浸水した。
事故調査の経過	令和4年10月3日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	水上オートバイ、0.2トン 290-64599福岡、株式会社 senzoo
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型
負傷者	なし
損傷	主機に濡損等（全損）
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1.0m
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人が1人で操縦する水上オートバイと共に、福岡市能古島西方沖での遊走を終え、出発地に向けて航行を開始した。</p> <p>船長は、僅かに船体後部が沈み始め、機関室が浸水していることに気付いたものの、浸水の状況を確認せずに航行を続けていたところ、機関室への浸水が進んで半没状態となった。</p> <p>船長は、身の危険を感じたので、本船を放置し、友人の水上オートバイに移乗して近くの浅瀬に避難した後、携帯電話で118番通報を行った。</p> <p>本船は、翌日、本事故発生場所付近の岩場に乗り揚げた状態で発見された後、解体処分された。</p> <p>船長は、発航前点検の際、機関室にビルジが溜まっていることを確認していた。</p> <p>日本小型船舶検査機構発行の「メンテナンスガイド～安全につながる身近な「点検・整備」PWC（水上オートバイ）」には、発航前点検等の注意事項として、概略次の記載がある。</p> <p>機関室内にビルジが溜まっていた場合は、ビルジを取り除き、必要に応じて整備方法を整備業者に確認すること。</p>
分析	本船は、航行中、機関室に海水が浸水したものと考えられるが、船長が浸水の状況を確認しておらず、浸水に至った状況を明らかにすることができなかった。

原因	本事故は、本船が航行中、機関室に海水が浸水したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 水上オートバイの船長は、発航前に機関室内にビルジが溜まっている場合は取り除くとともに、原因調査及び必要な整備が完了するまで運航を控えること。